

2014年8月22日  
SMBC日興証券株式会社

## SMBC日興証券、『投資信託ナビゲーション』と『金融電卓』のサービスを開始

SMBC日興証券株式会社は、2014年8月22日(金)より、当社ホームページにおいて、『投資信託ナビゲーション』と『金融電卓』の2つのサービスの取扱いを開始いたします。

『投資信託ナビゲーション』とは、簡単な質問にご回答いただくだけで、ご自身の投資スタイルに合わせたポートフォリオと、投資信託のご案内をさせていただくサービスです。

『金融電卓』とは、将来に目標とする資産を形成するために必要となる利回りの計算や、現在の金融資産から毎月一定の金額を取崩した場合、受取ることができる期間などを計算することが出来るサービスです。

新しく始める2つのサービスは、今年から開始されたNISA(少額投資非課税制度)を機に、これから資産運用を検討されている方や、数ある投資信託の中から、どのような商品を選んだら良いのかお悩みの方にご活用いただけます。当社で口座をお持ちでない方も、当社ホームページからご利用いただけますので、今後の資産運用の第一歩として是非ご活用ください。

### 【サービス概要】

#### 『投資信託ナビゲーション』

##### 1.投資スタイルに合わせたポートフォリオのご案内

資産運用で重視することや、運用の期間についてなどの簡単な質問にご回答いただきます。また、増やすための資産運用なのか、退職後の資産運用なのか、目的をご選択いただき、投資が可能な金額や、目標の金額などについてご回答いただくと、ご自身の投資スタイルに合わせたポートフォリオのご案内をさせていただきます。

##### 2.投資信託のご案内

投資スタイルに合わせたポートフォリオのご案内後、投資信託選びで重要視する項目を4つの選択肢の中からお選びいただきますと、それに沿った投資信託をご案内いたします。

#### 『金融電卓』

##### 1.将来に目標とする資産を形成するために必要となる利回りの計算

投資が可能な毎月一定の金額を、一定の期間運用した場合、将来に目標とする資産を形成するためには、どのくらいの利回りで運用すれば良いのかを計算できます。

##### 2.現在の金融資産から毎月一定の金額を取崩した場合の受取り期間や金額、必要な利回りの計算

現在の金融資産から、毎月一定の金額を取崩してお受取りになりたい場合に、どのくらいの期間受取ることができるか、また毎月一定の金額を一定の期間、取崩してお受取りになりたい場合にどのくらいの利回りで運用すれば良いのかを計算できます。

投資信託ナビゲーション・金融電卓サイトはこちら→ <http://www.smbcnikko.co.jp/inv/navi/index.html>

## 【投資信託ナビゲーションの画面イメージ】

### あなたのポートフォリオ (最終診断結果)

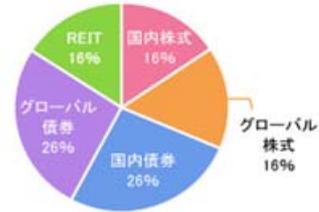
あなたの投資スタイルは **バランスタイプ** です。

あなたのご回答…

- Q1. 商品選択で重視すること: リスクを抑えながら収益アップ
- Q2. 資産運用の資金: 使う予定のない資金
- Q3. 購入方法: 毎月積立購入
- Q4. 損失発生時の行動: さらに買い増す
- Q5. 相場情報の把握: 時々

**バランスタイプ**とは…

「国内外の債券」と「国内外の株式・REIT」に約5割ずつ配分し、収益と安定性の双方を追求する投資スタイルです。



② 投資スタイル一覧

あなたの投資スタイルにあったファンドの一覧ができあがりました！

### ファンド一覧

評価基準日: 2014年7月31日時点

分類	国内株式型	グローバル株式型	国内債券型	グローバル債券型	REIT
ファンド名	☐ ○○○○○ 株式ファンド	☐ ○○○○○ 株式オープン	☐ ○○○○○債 券ファンド	☐ ○○○○○債 券オープン	☐ ○○○○○ リート
分散投資比率	16%	16%	26%	26%	16%
運用会社	△△△アセット・ マネジメント	△△△投信	△△△アセット・ マネジメント	△△△アセット・ マネジメント	△△△投信
基準価額 (2014年8月20日)	5,983 円	18,872 円	11,651 円	8,843 円	22,052 円
純資産 (2014年8月20日)	1,419 百万円	74,982 百万円	2,279 百万円	10,231 百万円	6,810 百万円
モーニングスター レーティング	★★	★★	★	★★★★★	★★★★

## 【金融電卓の画面イメージ】

当初の資金	<input type="text" value="100"/>	万円と
毎月の積立金額	<input type="text" value="1"/>	万円を
運用期間	<input type="text" value="10"/>	年間 運用して
目標金額	<input type="text" value="300"/>	万円 とするには
	<input type="button" value="▶ 計算する"/>	<input type="button" value="▶ クリア"/>
年間 約	<input type="text" value="4.2"/>	% の運用利回りがが必要です。

## 金融商品取引法第37条(広告等の規制)にかかる留意事項

### 【手数料等について】

SMBC日興証券株式会社(以下「弊社」といいます。)がご案内する商品等へのご投資には、各商品等に所定の手数料等をご負担いただく場合があります。例えば、店舗における国内の金融商品取引所に上場する株式(売買単位未満株式を除く。)の場合は約定代金に対して最大1.242%(ただし、最低手数料5,400円)の委託手数料をお支払いいただきます。投資信託の場合は銘柄ごとに設定された各種手数料等(直接的費用として、最大4.32%の申込手数料、最大4.5%の換金手数料又は信託財産留保額、間接的費用として、最大年率5.61%の信託報酬(又は運用管理費用)及びその他の費用等)をお支払いいただきます。債券を募集、売出し等又は相対取引により購入する場合は、購入対価のみをお支払いいただきます(購入対価に別途、経過利息をお支払いいただく場合があります。)。また、外貨建ての商品の場合、円貨と外貨を交換、又は異なる外貨間での交換をする際には外国為替市場の動向に応じて弊社が決定した為替レートによるものとします。上記手数料等のうち、消費税が課せられるものについては、消費税分を含む料率又は金額を記載しております。

### 【リスク等について】

各商品等には株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等及び有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む。)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)、又は元本を超過する損失を生ずるおそれ(元本超過損リスク)があります。なお、信用取引又はデリバティブ取引等(以下「デリバティブ取引等」といいます。)を行う場合は、デリバティブ取引等の額が当該デリバティブ取引等についてお客様の差入れた委託保証金又は証拠金の額(以下「委託保証金等の額」といいます。)を上回る場合があると共に、対象となる有価証券の価格又は指標等の変動により損失の額がお客様の差入れた委託保証金等の額を上回るおそれ(元本超過損リスク)があります。

また、店頭デリバティブ取引については、弊社が表示する金融商品の売付けの価格と買付けの価格に差がある場合があります。

上記の手数料等及びリスク等は商品毎に異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書又はお客様向け資料等をよくお読みください。なお、目論見書等のお問い合わせは弊社各部店までお願いいたします。

### 商号等

SMBC日興証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号

### 加入協会名

- ・日本証券業協会
- ・一般社団法人日本投資顧問業協会
- ・一般社団法人金融先物取引業協会
- ・一般社団法人第二種金融商品取引業協会